

赤い靴通信 410号

人生百歳時代といわれ久しくなりますが、身近な方が百歳になると改めてその重みを感じます。ザ・シワクチャーズ横浜のメンバーの蒲田敏子（かつきたとしこ）さんが5月10日にその歴史的誕生日を迎えられたのです。5月3日には横浜市開港記念館ではバースデートークショーがあり、私共もお伺いしましたが、100歳の蒲田さんはご自分の人生を3部に分けて、原稿なしで、堂々と軽快にお話され、時折まだまだご健在のソプラノの歌声も聴くことができました。蒲田さんがお祖母様から頂いた言葉「太陽に向かって一歩一歩進め」、お父様から「嵐は強い木をつくる つらいことにも嫌なことにも向かってこそ強い木になる 何事にもへこたれるな」、お母様から「仲良く助け合うこと」を胸に歩んでこられ、ご自身もまた「たった一言で人の心を傷つける たった一言で人の心をうるおす 自分を信ずる者に不運はない 自分を愛さない人に微笑みはない 私は私 努力のみ 夫婦は一生の修行相手 師になったり弟子になったり」「素直な心で思いやり 素直な心で我慢 素直な心で控えめ 素直な心でとらわれず 流した涙は我慢 美しき花も ゆかしき人も がまん華です 人の一流二流は我慢の差」とその言葉は当日の記念小冊誌にも記載されており、私達にも大切な言葉となりました。また令和元年には「白寿のあゆみ」の鎌倉彫りの個展を開かれましたが、以前も何回か節目の個展にも伺い、いつも躍動感溢れる数々の作品に魅せられます。また彫刻界の巨匠・平櫛田中先生も100歳を越えてなお現役ご活躍で107歳の長寿でした。彫刻刀を握る方は長生きをされるようです。

赤い靴事業団の初代理事長は横浜市議会議長の川口正英先生ですが、103歳までの人生は農学博士としても「白鳳」の桃を作るなどの貢献をされた方です。そして、ザ・シワクチャーズの主宰者・高木東六先生は102歳の人生で音楽界に偉大な足跡を残されました。「音楽とおしゃべりは文化です」「僕は音楽を愛する人を信じます」などの名言も残してくださいました。

私松永は106歳の予定です。何号か前の赤い靴通信に書きましたが、理由は他愛ないことです。小学生の夏休み私は鎌倉雪の下の大叔父の家で過ごし、八幡様の近くで蟬をよく捕りました。ある日、数えたら虫籠に53匹捕れていて皆死んでいました。大泣きしている私に大叔父が「これから小説家の久米正雄先生のところに行くからついておいで」というので一緒に行くと言われ「どうした、泣いた後か」と聴かれ、大叔父が説明しました。先生は「それはいけない、神社の蟬を殺すとその数しか生きられない。一つ方法がある、君が53歳になった時に平らな小石53個にお経の一文字を筆で書いて蟬を捕ったところに「許してくれ」と書いて謝るんだ。すると君は捕った蟬の倍生きられるんだ。106歳だ。」久米文豪は本当かどうかとつきに考えたことを話したと思いますが、今考えているミュージカルのネタも後14作あるので106歳が限度かなと思っています。私は53歳の誕生日に八幡様へ行き、蟬に謝ってきました。

第34期 赤い靴ジュニアコーラス 定期演奏会

開催日時：6月20日（日）14時開演
会場：杉田劇場 / 全員ご招待

観覧ご希望の方は上記赤い靴事務局まで、事前申し込みが必要です。



100歳の蒲田敏子さんを囲んで

～蒲田さんが大切に守ってきた言葉～

素直な心で思いやり	素直な心でがまん
素直な心でひかえめに	素直な心でとらわれず
流した涙はがまん	美しき花も
ゆかしき人も	がまんの華です
人の一流二流は	がまんの差

今後のスケジュール

- ★6/20（日）第34期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
杉田劇場
14:00 開演（13:30 開場）
ATF・青隊・赤隊ⅠⅡⅢ
全員ご招待。事前予約制
ご観覧希望の方は赤い靴事務局へご連絡ください。
- ★7/22（木・祝/海の日記念日）
第15回 中区ダンスフェスティバル
関内ホール・大ホール
①12:00～15:30
②16:30～19:50
各回入替制 各600円
- ★8/7（土）・8/8（日）
横浜市民子どもミュージカル メモリアル
2021～物語は終わらない～
関内ホール・小ホール
詳細は後日
- ★9/12（日）
歌の贈りもの
「音楽劇・赤い靴」
出演：Pi坊 土屋友紀
ピアノ：緒勝涼子
詳細は後日

かつて120歳になった泉竹千代さんが、ご自分で作った竹の長いパイプで煙草を吸っていたので記者が尋ねると「医者がなるべく煙草は遠ざけろ」と言っていて煙に巻いたといっています。また、もし再婚の気持ちあるならどのような人がいいですかと聴いたら、恥ずかしそうに「やっぱり年上かな」と応えたといっています。金さん銀さんも記者の「方々に出演するとお礼をもらうでしょう、あれはどうしていますか？」の問いに「老後のために貯金している」と応えたそうです。皆さんなかなかの余裕とユーモアの持主ですね。

5月28日に映画「HOKUSAI」が全国公開され、同日のテレビ東京では「神奈川沖浪裏」の版画に焦点を当てた番組が放映されました。あの有名な浪は現在の本牧沖あたり、別説では木更津の沖合付近といわれているようです。北斎が75歳に出版された「富嶽百景」の中にある作品なのです。平均寿命が約40歳の時代に90歳まで生きました！超長寿の葛飾北斎は生涯に3万点を超える作品を発表し、ゴッホ、モネ、ドガなど数々のアーティストに影響を与え西洋近代絵画の源流となりました。また、フランスの作曲家・ドビュッシーも交響曲「海」を作曲したことはよく知られています。そしてその富嶽百景の跋文に「70歳以前までに描いた絵は取るに足らないもの、73歳にしてようやく動植物の骨格や出生を悟ることが出来、そして80歳ではさらに成長し、90歳で絵の奥義を極め、100歳で神妙の域に到達し、百何十歳になれば1点1格が生きているようになる」と100歳を越えてもなお絵師として向上しようとする気概の言葉を残しています。170年以上を経た今もすべて新鮮で感動的です。

さて、赤い靴ジュニアコーラスの第34期定期演奏会が6月20日（日）杉田劇場で開催されます。長引くコロナ禍でレッスンの中止や時間短縮もある中で神奈川県民ホール主催のオペラ「トゥーランドット」、インターコンの「クリスマスキャロル」、みなとみらいホール主催の「こどもの日コンサート」など制約のある条件下で工夫をしながら見事な本番を観せてくれました。定演はその一年間の成果をご覧頂く演奏会になります。温かい応援をお願いしたいと思います。

私事ですが、1回目のワクチン接種を5月29日横浜市技能文化会館で終えました。2回目は6月29日（土）です。定演の前日ですが、2回目の副反応は若いほど激しいとか？反応がどちらになるかと複雑な気持ちです。

2021.5.31 団長 松永 春